

「えのすい×TeamLab」 見学レポート

1323015 寺田拓哉

12月25日に新・江ノ島水族館で行われた「えのすい×チームラボ ナイトワンダーアクアリウム」の見学レポート。



<https://www.facebook.com/enosuiteamlab/photos/a.909071869181515.1073741849.835806156508087/909819202440115/?type=3&theater>

### 呼応する球体と夜の魚たち, Christmas

水族館の道中が光る無数の球体で囲まれており、衝撃を受けた球体の色が音と共に変化。その周辺の球体もそれに呼応するように色が変わっていく。ボールは弾むような材質であり、子供が触れても楽しめそうである。道中が幻想的に彩られ、カップルなどにも受けがよさそうだった。



図 1 呼応する球体

## 花と魚 - 相模湾大水槽, Christmas

巨大な水槽に花を模したプロジェクトマッピングが投影される。水槽で泳いでいる魚がスクリーンの役割を果たし、花柄の魚のシルエットが水槽の中に泳いでいるように見える。シルエットが巨大なエイなどが分かりやすい。もし魚の動きをリアルタイムで探知でき、それに合わせて映像を出せる技術があれば、表現の幅がさらに広がると思った。

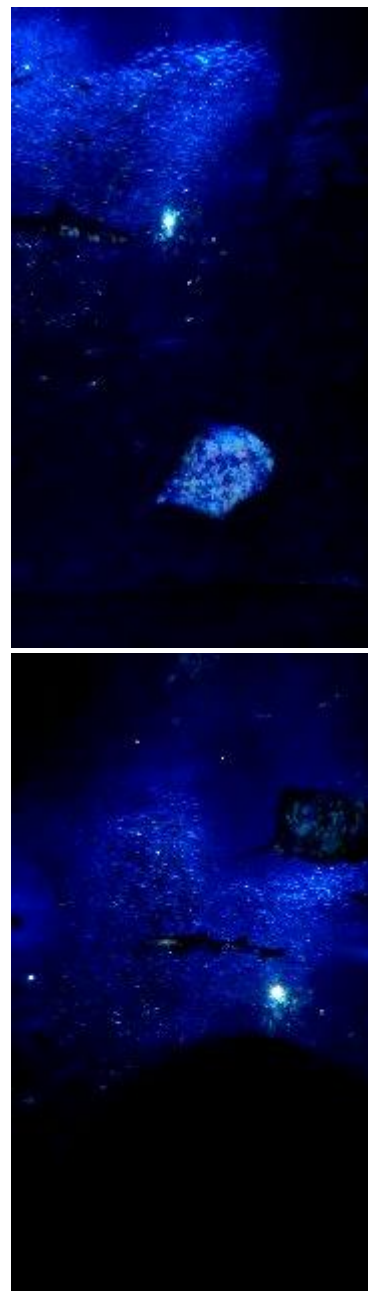


図 2 花と魚

### インタラクティブオーシャンバー

ナイトワンダーアクアリウム期間中、テラスの売店では特別メニューとして3種のドリンクが販売されている。ドリンクの中にはLEDライトが埋め込まれた氷を模したものが入っており、ドリンクが光っているように見える。

ドリンクをテラスに置いてある専用の二つの机に置くと、置いたドリンクごとの色の光が天井と椅子に音楽と共に広がる。

恐らくカップルを想定したアートだが、子供も楽しめそうな仕掛けである。それだけにドリンク3種のうち2種がアルコールで、残るノンアルコールカクテルも苦くて子供には親しみづらい味だったのが残念。子供も飲めるようなサイダーなんかにも対応していると良いと思った。

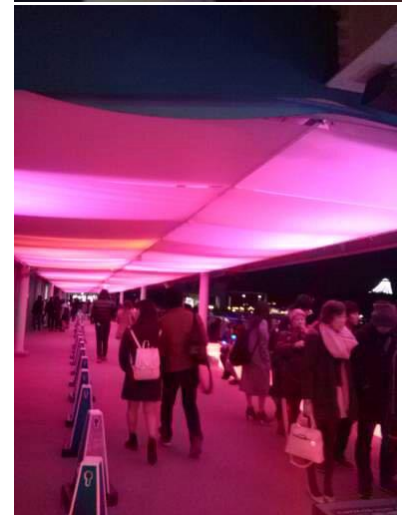
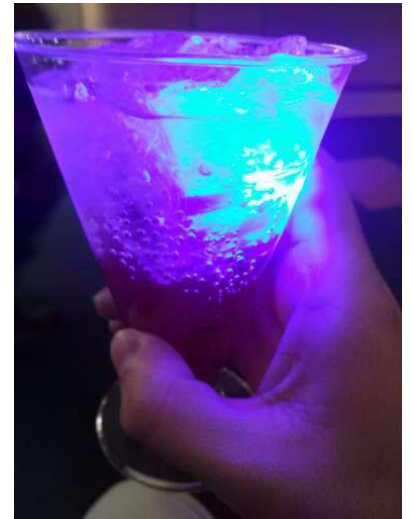


図 3 ドリンクとテラス

## お絵かき水族館

エイ、カメ、イカ等の種類の中から一つ選び、専用の紙にクレヨンで色を塗るようにして各生き物の絵を描いていく。描き終わったら係員に渡すと、絵を機械で読み込んでもらえる。するとスクリーンに映し出された水槽の中に自分が描いた絵の生き物が現れ、泳いでいる姿を見ることが出来る。四角い枠線からはみ出さなければ描いた部分は生き物型の枠線からはみ出しても反映される。

特に子供にかなりウケの良かったアート。スクリーンに直接触れることで生き物たちが逃げ出したり、逆に餌をやって一か所に集めることが出来るのも、特に幼児は喜ぶと思う。生き物の動きは一定に全身をひらひらとさせた感じなので、尻尾や触手など特定の部位が単独で動いても面白いのではと思った。



図 4 お絵かき水族館

## まとめ

全体的に水族館のデートスポット及び子供を連れてくるアミューズメント施設としての面を強調する展示となっていたため、そういった層の人にはお勧めできる。水族館本来の持つ水槽生物を見せるという面にもう少しアプローチできていればよかったかもしれない。